

議会だより おかがき

No.117 6月定例会 平成30年7月25日発行

- 2 ● 体育・教育環境充実へ
- 6～7 ● 町政を問う



定例会 **6月**
概要版

体育・教育環境充実へ

第2回定例会が6月6日から6月18日までの13日間の日程で開かれ、平成30年度一般会計補正予算(第1号)、国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)、契約案件2件を含む議案11件について慎重審議を行いました。

総合グラウンドバックネット改修工事 2065万円



老朽化のため2カ所とも改修します。
 工事期間は、平成30年11月から平成31年3月末までの予定です。工事期間中は使用できません。(テニスコートは使用できます)

一般会計補正予算

海老津小学校トイレ改修工事 1億206万円



環境改善のため、校舎及び体育館内の全トイレを洋式型に改修します。工事期間は、主に夏休み中です。

工事契約

消防ポンプ自動車購入 1820万円



第三分団ポンプ車老朽化のため購入します。

購入契約

特別会計の繰り上げ^{じゅうよう}充用 1億5667万円

平成29年度の国保会計は、赤字のため平成30年度国保会計から繰り上げします。

国保会計
補正予算

住民懇談会「議員と語ろう」 お知らせ



「議員と語ろう」

日時 8月21日(火)

午後7時～9時

場所 東部公民館

7月3日(火)午後7時から予定していましたが、台風接近に伴い延期しました。次回の開催日は8月21日(火)です。



住民懇談会「議員と語ろう」はこう変わります

1. ワールドカフェスタイル

ワールドカフェとは、知識や知恵や良いアイデアは、会議室ではなく、立場や年齢も関係なく、友達同士で自由に気楽に楽しく会話ができる『カフェ』のような空間でこそ生まれるという考えに基づいた話し合いの手法です。

2. 議員と住民が同じテーブルに

これまでは、議員と住民が向き合う形でしたが、今回は議員と住民が同じテーブルに座ります。議員を6テーブルに分けるので、住民のみなさん全員が発言できるようにしました。

3. 岡垣町を一緒に考えよう

これまでは、議員が議会報告をした後、住民のみなさんが意見などを出されていましたが、今回は「住みたい・住み続けたいまちづくり」について

① 岡垣町の魅力は？

② 岡垣町の問題点は？

③ 住み続けたいまちづくりするにはどうしたらいい？なにができる？

この3点をみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。



皆様のご参加お待ちしております

岡垣町立体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

町民総合グラウンド等の使用料を見直すための条例の改正です

反対

平山 正法 議員

この使用料の改定は、行政改革推進計画のひとつである。現在の総合グラウンド及びテニスコート、松ヶ台グラウンド、ふれあいスポーツ広場の受益者負担率は11%から19%となっている。それを25%にするために使用料金を引き上げるといふものである。しかし、少額であろうと使用料の引き上げは、住民負担を増やすものである。町はグラウンド等の設置目的に健康増進を掲げ、健康づくりを推進している。一方で、行政改革の名のもとに、使用料金の引き上げを行うことは、住民の健康づくりに逆行すると同時に、住民の社会的な活動を抑えるものであるものと考え反対する。

賛成

木原 大輔 議員

公の施設でサービスを提供する場合、施設の建設に要した費用だけでなく、日常の管理運営に必要な人件費、光熱水費、補修費など管理運営コストが必要である。施設の利用に当たっては、利用者から使用料を徴収しているが、全ての管理運営コストを賄うことができていない現状である。その差額は、町民全体で負担している町税収入で賄われている。このような状況では利用者で未利用者との負担の公平性・公正性が確保できていない状況にあり、受益者負担の原則を考えると管理運営コストは利用者が負担することが本来のべき姿と考え賛成する。

広渡 輝男 議員

町民のスポーツの振興、健康増進に大きく貢献する町民総合グラウンド等の使用料は、低廉な料金で利用しやすい環境を維持すべきであるが、町の財源である地方税は、高齢化の進展・人口減少から横ばいか、微減する一方で、民生費等の増加は著しく、財政運営は非常に厳しい。行政改革の受益と負担の見直しを行うものである。引き上げ額は、近隣町と比較した使用料の見直しで、利用者による過大な負担を求めるところではない。生涯スポーツ・学習の一翼を担う施設であり、しっかりと説明責任を果たされることを求めて賛成する。

森山 浩一 議員

昭和54年から料金改正は行っておらず、近隣と比較して低い料金設定であり、各施設の受益者負担率が25%を大きく下回っているとの町長説明は、町の財政状況を考慮すると、住民の皆様には大変心苦しく思うが、一定の理解はする。しかしながら、町の体育施設は、利用者によって一定の維持・管理がなされている。例えば、町民総合グラウンドのテニスコートは、耐用年数が7〜10年と言われているが、人工芝張替工事が12年ごとに実施されていることは、テニス連盟の方々の日々のメンテナンスが背景にあることをあえて申し上げて賛成する。

平山

教員の長時間労働解消を

教育長

実状を把握する



平山 正法 議員

平山 教員の多忙化が全国的にも問題となっており、学校現場からも改善が要望されています。長時間労働と多忙化解消に向けて、見解と必要な施策についてお尋ねします。

教育長 教育委員会では、教職員の出勤を電子的に管理していないため、現時点では時間外勤務の正確な状況は把握できていませんが、各小中学校とも定時に退勤している教職員は少数で、教職員の負担軽減や児童生徒と向き合う時間を確保していくことが大きな課題であると捉えています。

特に、運動部活動の顧問は土日勤務が常態化しており、

早期に対策が必要な課題と捉えていました。このため、教員の負担軽減だけでなく、長期の生徒に対する休養の必要性という点でも今年度から週1日の休養日の徹底を図るほか、土日は隔週で1日休養日を設けることとしています。

平山 教員の生命や健康、子どもの教育のためにも直ちに長時間労働を解消する責任があります。岡垣町の独自の取り組みについてお尋ねします。

教育長 スクールソーシャル



岡垣東中学校

ワーカーを継続雇用するなど専門的なスタッフの配置、特別支援学級支援員や学校事務職員を適正に配置するなど、人的な面でも教職員を支援しています。このほか、教員の授業準備や成績処理など校務

の効率化を図るため、夏休みには教職員1人1台の校務用パソコンを設置します。設置後は、出勤管理もできますので、実状を把握したうえで、さらなる対策を検討したいと考えています。

小野

骨髓バンクドナー支援制度の導入を

町長

前向きに検討する



小野 元次 議員

町長 移動献血会場でのドナー登録の呼びかけ、広報等での周知、役場窓口でのパンフレット設置や成人式で配布など、多くの方にドナー登録していただけるよう啓発しています。

小野 北九州地域での骨髓移植治療は、小倉記念病院・産業医科大学病院・JCHO九州病院・北九州市立医療センターで行われ、北九州市では市骨髓等移植ドナー助成金交付要綱を定めています。

北九州市と岡垣町は北九州市圏域連携中枢都市の連携協約で、高度急性期医療等の

提供を掲げています。骨髓及び末梢血幹細胞を提供されるドナーへ骨髓等移植ドナー助成金交付の検討をお願いします。



町長 仕事が休みにくい、収入に影響するなどの事情により、ドナーが見つかることも移植を受けられない患者がいることから、ドナーの休業等による経済的負担・不安を軽減する仕組みとして、骨髓バンク助成制度の導入が全国的に進んでいますので、国・県の動向や近隣市町の状況を把握しながら前向きに検討します。

(その他の質問)

*岡垣町地域福祉計画・地域福祉活動計画。

西

地域福祉を進めていくために

町長

お互いさまの地域づくりを目指す



西 美千代 議員

西 近年、免許証の返納をする方が増えている一方で、公共交通の路線から離れている方は、高齢になっても運転し続けている現状があります。公共交通では補完できない、高齢者の移動手段の確保についての検討状況はどうなっていますか。

町長 公共交通という公助の仕組みだけで高齢者の移動手段を支えることには限界があります。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしている環境づくりのためには、自助、互助、共助の取り組みを進める必要があります。行政のみならず地域全体で考えていかなければならない問題です。

西

昨年4月から認知症カフェに対する補助制度が始まり、介護施設や個人で取り組みを始められ、現在9カ所で開催されています。認知症カフェは認知症の人やその家族、地域住民、専門職など誰もが気軽に集まることのできる集いの場です。この事業の取り組みの評価とこれからの課題についてお尋ねします。



認知症カフェ「みかんの木」足湯

町長

認知症カフェは、認知症の人にとっても、介護する家族にとっても、不安やスト

おんがレガッタに参加しました

レスを軽減する効果があると考えています。運営者との意見交換会では、担い手不足や移動手段に課題があると聞いています。今後も認知症の人の引きこもり防止などにつながるよう、カフェ運営者と意

見を交換しながら、誰もが参加したくなる場になるよう努めていきたいと考えています。(その他の質問)
*循環型社会の形成に向けて、マイバッグ持参運動の推進について

5月19日(土)第20回おんがレガッタ記念大会が遠賀町の遠賀川漕艇場で開催され、今年も岡垣町議会チームとして参加しました。風が強く、思うように艇が進まない中、予選3組を6チーム中3位で準決勝に進出し、準決勝5組では惜しくも敗退しました。



委員会視察研修・活動レポート

総務産業常任委員会

日時
平成30年5月14日～16日
視察先及び目的
・千葉県南房総市
(道の駅とみうら枇杷倶楽部)
第1次産業振興プラン
・千葉県館山市(渚の駅たてやま)
館山港港湾振興ビジョン

昨年度に引き続き「小さな拠点」の視察と地域活性化へ向けた取り組みの調査研究を行いました。
南房総市は、地方創生へ向けて第1次産業の農業・漁業・林業などを観光開発業へコーディネートした取り組みを行い、特産品開発や観光産業のプラットフォーム化は岡垣町の活性化に役立つものでした。
館山市は、特定地域振興重要港湾として選定され、館山港湾振興ビジョンを策定し、観光振興に貢献する海辺のまちづくりを進めています。漁港や海岸線の利活用は大いに参考になりました。



渚の駅たてやま



道の駅とみうら枇杷倶楽部

日時
平成30年4月27日
視察先及び目的
・福岡県水産海洋技術センター
センター事業について

地方創生を視点に置き、津漁港を取り巻く漁業の実態や課題を調査するため福岡県水産海洋技術センターの視察調査を行いました。
昨年11月の遠賀漁協組合波津本所との視察調査で明らかになった問題を解決するため、ハマグリ資源調査、藻場の保全活動、アカモク養殖試験・カキ養殖、アワビの増殖技術開発や、サワラの漁獲量が増えていることから、競争力強化促進事業の「サワラの高鮮度保持」等の説明を受けました。



研究室の様子



屋外研究施設の様子



議会の動き

3月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
4月 4日	議会広報	議会だより編集
4月 9日	全員協議会	公共施設等総合管理計画に基づく施設(福祉関係)の見直しについて
4月 9日	議会運営(協)	行政視察研修
4月10日	議会広報	議会だより編集
4月12日	中西部地域	閉会中の継続調査
4月17日	総務産業	地方創生についてほか
4月19日	議会広報	議会住民懇談会
4月23日	文教厚生	障害者の就労支援についてほか
4月27日	総務産業	行政視察研修(福岡県水産海洋技術センター)
5月 7日	議会広報	議会住民懇談会
5月 9日	文教厚生	行政視察研修(埼玉県ふじみ野市)
5月10日	文教厚生	行政視察研修(栃木県足利市こころみ学園)
5月11日	文教厚生	国会議員表敬訪問
5月14日	総務産業	行政視察研修(千葉県南房総市)
5月15日	総務産業	行政視察研修(千葉県館山市)
5月16日	総務産業	国会議員表敬訪問
5月22日	中西部地域	閉会中の継続調査
5月24日	議会運営	平成30年第2回定例会
5月24日	議会運営(協)	行政視察研修
6月 6日	本 会 議	平成30年第2回定例会
6月 6日	議会広報	議会だより編集
6月 7日	本 会 議	一般質問 3人
6月 8日	総務産業	付託案件の審査・防災について(現地視察2カ所)
6月11日	文教厚生	付託案件の審査
6月12日	中西部地域	中西部地域活性化促進に関する調査研究について
6月13日	全員協議会	浄水場の非常用電源設備について ほか
6月13日	議会運営	追加議案
6月14日	連合審査会	付託議案の審査
6月18日	本 会 議	議決(最終日)
6月18日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会
6月21日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会
6月26日	中西部地域	中西部地域活性化促進に関する調査研究について
6月29日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会

文教厚生常任委員会

日時
平成30年5月9日～11日
視察先及び目的
・埼玉県ふじみ野市
・子育てコンシエルジュ事業
・栃木県足利市(こころみ学園)
農福連携

ふじみ野市では、地域子育て支援拠点事業の機能充実を図るため、平成28年より行われている「子育てコンシエルジュ事業」の研修を受けました。
この事業は、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援を行う子育て事業や訪問型事業を推進する支援制度

で、今年度からは、子育て世代包括支援センターへの機能拡大を図っています。
足利市の障害者支援施設こころみ学園は、障害のある人が一人一人に適した、農作業を通して機能訓練が行われています。
シイタケやぶどうを栽培し、ワインの製造までを自分たちの障害の状態にあった作業内容で、みなさん生き生きとされていたのが印象的でした。

ふじみ野市



足利市(こころみ学園)

岡垣町のここはどこ？

この建物は、町のお店屋さんや会社の方たちが会員となり、ビジネスやまちづくりのために活動を行う団体の拠点になっているよ。
この団体が行う2つの大きな事業として、一つは地域社会の発展のための地域振興事業を通して元気な地域づくりと商工業振興のための事業などを行っています。もう一つの事業は経営改善普及事業で経営指導員などが、金融・財務・経営・労務などの相談や指導に従事して頑張っています。



びわりん・びわすけからの一言
8月4日(土)午後5時45分からえびつかぐや灯籠まつりが開催されるよ。いろんな灯籠があるよ。みなさん遊びに来てね！

No.116の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、浄水場でした。

会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

**どうぞ
傍聴席へ**
次の定例会は
9月5日(水)
開会の予定

4・5・6月の主な出来事



岡垣中学校体育大会



焼酎岡垣 イモ苗の植付



ラブアース・クリーンアップ



ふれあいコンサートinおかがき

編集後記

三浦 進

台風一過で晴天になると思いきや、7月6日は記録的な集中豪雨となりました。
全国的には中国、四国、近畿地方を中心に死者・行方不明者が200名を超えると予想されています。犠牲になられた方々に、心からお悔やみを申し上げます。
町内でも各所で土砂崩れ、出水、河川氾濫、床下浸水などの被害が出ました。町内避難所には65世帯120名の方が避難されたそうです。
幸いにも大きな被害とはなりませんでしたが、平時において気がつかない多くのことが浮き彫りになり、防災上の課題が発見されました。その中で、「でんたつくん」については、タイムリーな情報が提供され大活躍でした。心強い味方が増えたと思います。
災害は忘れた頃にやってくるものです。各々方々ゆめゆめ油断召されるな。

発行責任者

議長 太田 強

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 平山 正法 |
| 副委員長 | 森山 浩二 |
| 委員 | 神崎 宣昭 |
| 委員 | 木原 大輔 |
| 委員 | 三浦 進 |
| 委員 | 西美 千代 |